

水稻中期除草剤による雑草防除

古川農業試験場・農業センター

1 取り上げた理由

水稻中期除草剤について検討した結果、従来剤を上回る実用性が認められたので参考資料とする。

2 参考資料

1) 有効成分及び薬剤名等

シハロホップブチル・ペンタゾン液剤(商品名：クリンチャーバスME液剤)：3.0，20.0%

性状：黄赤色透明水溶性液体 毒性：人畜毒性 普通物，魚毒性 B類

対象雑草名 一年生雑草：ノビエ，タマガヤツリ，コナギ，広葉雑草

多年生雑草：マツパイ，ホタルイ，ヘラオモダカ，ミズガヤツリ，ウリカワ

2) 使用方法

使用時期・回数：田植後25～40日(ノビエ5葉期まで，但し収穫60日前まで)に1回

使用量：10 a 当たり1,000ml・希釈水量 70～100 l

散布方法：落水状態にして水の出入りを止める。落水の出来ないところでは少なくともヒタヒタ水の状態とする。散布液は使用当日に調整する。加圧式噴霧機での散布がより効果的である。散布後少なくとも3日間(浅水状態では5日間)はそのままの状態を保ち，入水，落水，かけ流しはしない。

3) 防除体系



3 利活用の留意点

- 1) 移植前後の初期除草剤との体系で使用する。多年生雑草の効果を安定させるため必ず適期に散布する。
- 2) 雑草に露のついている時間の散布は避け，散布後晴天の日が続く日を選んで散布する。
- 3) DCPA剤との近接散布は避ける。
- 4) 展着剤は加用しない。
- 5) 軟弱苗，処理時の高温，重複散布で葉に褐色斑点，白化，褐変，葉先枯れがみられる場合がある。
- 6) 周辺作物(広葉作物)の生育を阻害するおそれがあるので，ドリフトに注意する。
- 7) 水産動物に影響があるので，河川・湖沼・養殖池等に流入するおそれのある場所では使用しない。
- 8) 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。

(問い合わせ先：古川農業試験場栽培部 電話 0229-26-5106)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

新資材による育苗及び成長調節剤並びに雑草防除に関する試験 平成6年 農業センター
 化学物質による生育調節・雑草防除及び新資材に関する試験 平成6・7年 古川農業試験場
 生育調節・雑草防除及び新資材に関する試験 平成8年 古川農業試験場
 農薬展示試験 平成10年 石巻地域農業改良普及センター

2) 参考データ

表1 使用方法と除草効果及び水稻への影響

試験名 (除草剤名)	試験場所	年度	田植後の 処理時期	処理量 (ml/10a)	除草効果 ¹²⁾		水稻への影響
					一年生雑草	多年生雑草	
DEH・BAS乳剤(ME)	農業センター	平5	+25, +35 ¹⁾	1,000	極大	極大	無
			+17, +21, +28 ²⁾		極大	極大	無
		平6	+25, +45, +52 ³⁾	1,000	極大	極大~大	無
			+41 ⁴⁾ , (+12)→+52 ⁵⁾		シズイ対象 シズイ対象	極大 極大	無 無
(クリンチャーバスME液剤)	古川農業試験場	平7	+19, +24, +28 ⁶⁾	1,000	極大	極大	無
			+25, +41, +53 ⁷⁾		極大	極大~大	無
		平8	+41 ⁸⁾ , (+3)→+52 ⁹⁾	1,000	シズイ対象 シズイ対象	極大 極大	無 無
			(+12)→+53 ¹⁰⁾		シズイ対象	極大	無
			+18, +24, +30 ¹¹⁾	1,000	極大~大	極大~大	無

注 1) M0-338粒剤(+3)との体系処理。処理時のノビエの葉齢は、処理時期順に、2.0~3.0, 4.5~5.0L。
 注 2) 処理時のノビエの葉齢は、処理時期順に、3.0, 4.0, 5.0L。
 注 3) X-52粒剤(+3)との体系処理。処理時のノビエの葉齢は、処理時期順に、始、3.0, 4.0L。
 注 4) シズイ対象で、処理時のシズイは草丈30cm。
 注 5) シズイ対象で、KUH-883粒剤(+12)との体系処理。処理時のシズイの葉齢は、始。
 注 6) 処理時のノビエの葉齢は、処理時期順に、3.0, 4.0, 5.0L。
 注 7) CG-113-1kg粒剤(+3)との体系処理。処理時のノビエの葉齢は、処理時期順に、2.2, 4.0, 5.0L。
 注 8) シズイ対象で、処理時のシズイは草丈30cm。
 注 9) シズイ対象で、CG-113-1kg粒剤(+3)との体系処理。処理時のシズイは30cm。
 注 10) シズイ対象で、KUH-883粒剤(+12)との体系処理。処理時のシズイは草丈5cm。
 注 11) 処理時のノビエの葉齢は、処理時期順に、3.0, 4.0, 5.0L。
 注 12) 除草効果：残草率 極大10%以下, 大11~20%, 中21~40%, 小41~60%。

表2 平成10年度農薬展示試験成績

除草剤名	試験実施普及センター成績									備考 (対照薬剤)
	大河原	亘理	仙台	古川	小牛田	築館	迫	石巻	本吉	
クリンチャーバスME液	上段)注 中段) 下段)							+25 3.0 A		ハ°デ°ホ° 1キロ粒剤

注) 各欄の数字の見方 (上段：田植後処理時期(+日)
 中段：処理時のノビエ葉齢(前：発生前, 始：発生始, -：未発生)
 下段：総合評価(A：普及上問題なし, B：更に検討したい。)

3) 発表論文等 無し

平成11年度県防除基準
 平成11年度県稲作指導指針

参考価格：クリンチャーバスME液剤 1,920円(500ml)

